

# 西光寺だより

第三十二号 平成二五年 四月一日発行

東日本大震災が起きて二年の月日が経ちました。

西光寺のご門徒の方で実際に被災地に行かれた方のお話を聞かせていただいた際、その場に立ってみると手を合わさずにはいられない状況であり、宗教のありがたさ・考え方を痛感したというお話を思い出し、自分自身一人の人間として、一人の日本人として、現実の世界に起こったこの東日本大震災の現場に立ち、実際に眼で見て、心に刻んでおかなければならない出来事だと感じ、日帰りであり時間がありませんでしたが、この度三月二十八日に、東北地方・仙台に行つて参りました。

降り立った仙台駅は震災の影も形もなく賑わつており、そこからタクシーで約四十分の閑上(ゆりあげ)地区という場所に向かいました。ここは東日本大震災の津波によつて、八百人近い犠牲者を出した宮城県名取市の閑上地区。そのうち四十人以上が、今も行方不明。運転手のお話を聞きながらの道中、いきなり一面何もない光景が眼に入った時、これが津波の恐ろしさと言葉を失いました。ほとんどの瓦礫が撤去されていると聞いていた分、何もない状況が逆に恐怖でありました。残されていた建物には慰霊碑やメッセージ、お線香が置かれお参りが出来るよう設置されていました。立ち寄った閑上中学校は犠牲になつた方の名前が書かれてあり慰霊碑と共に千羽鶴が置いてありました。ここで被害に遭い多くのいのちが亡くなつたと現場に立つとただただ合掌するしかありませんでした。

短い時間ではありましたが、現実の世界で起こっている事実の時間を体全身で受けとめながら、心にしっかりと刻むことが出来ました。西光寺だよりをおしてご報告させていただきました。



閑上中学校 慰霊碑



被災した閑上中学校



高台からの様子



沢山の人の命が今もここにある事を忘れないでほしい。死んだら終わりですか？生き残った私達に出来る事を考えます。

閑上中学校 慰霊碑の机上のことばより



被災したお寺と墓地の状態



## ◆四・五月の行事◆

・四月 六日(土)

春季永代経法要・追弔会

西光寺本堂

・五月 二〇日(月)・二十一日(火)

親鸞聖人降誕会

宗祖親鸞聖人がご誕生になられたことをお祝い申し上げる法要であります。ぜひお時間のある方は京都西本願寺にお参り致しますしよ。

京都西本願寺

## ◆先月の報告◆

①三月三日(日)、午後二時半より西光寺本堂にて初参式を行いました。初参式とは浄土真宗の門信徒のご家庭に生まれた赤ちゃんが初めてお寺にお参りする式であり、子にとつてはじめての仏縁ですが、同時に親にとつても、親として生きる出発点であり、子によつていただいた尊い仏縁でもあります。

恵まれた新しいのちを阿弥陀如来さまの御前にて、ご家族、またご縁ある方々そろつてお祝いさせていただき、お念仏させていただきました。吉川 凜ちゃんおめでとうございました。

②三月二十四日(日) 仏教婦人会総会が西光寺本堂にて執り行われました。十一時半〜正信偈のお勤め、十二時〜お斎、そして総会が行われ、行事報告・会計報告をさせて頂きました。会長はじめ役員の皆様、準備などお疲れ様でした。参加頂いた婦人会の皆様ご苦勞様でした。どうぞこれからも宜しくお願い致します。

☞あとがき☞

四月二十日・五月十二日と西光寺役員会そして総会と西光寺講の総代の皆様・役員の皆様・講員の皆様にはお忙しい時期でございますが、講の行事報告・会計報告をさせていただきますので、どうぞご参加頂きますよう宜しくお願い致します。

合掌

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>